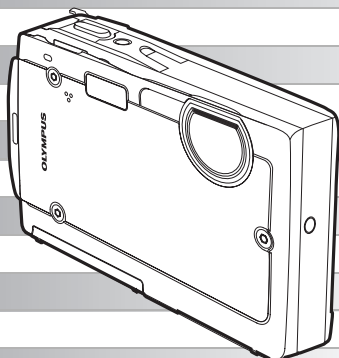
デジタルカメラ

μ720 SW

取扱説明書

応用編

カメラのボタンやメニューなど、機能別に説明しています。目的に応じて読んでください。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の使い方

目的から探す▶▶▶もくじ
☞P.3

もくじ

用語から探す▶▶▶索引
☞P.80

索引

やりたいこと、知りたいことから探す▶▶▶こんなときは？
☞P.57

5　もっとカメラのことが知りたいときに

こんなときは?

撮影前、こんなときは

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない
・充電器で電池を充電してください。

低温下にあり、一時的に電池の性能が低下した
・電池は低温下にあると性能が低下して、カメラを動かすための十分な充電量が確保できない場合があります。カメラから電池を一度取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

もくじ

1 ボタンを使って操作する 8

実際にカメラを手に取ってイラストで確認しながら、カメラのボタンの機能を試してください。

2 メニューを使って操作する 14

メニューの基本的な操作方法から、各メニューの機能や設定内容など、メニューのすべてがわかります。

3 プリントする …… 37

撮影した画像をプリントする方法について説明しています。

4 パソコンと接続する.. 46

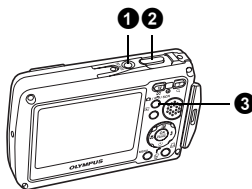
カメラの画像をパソコンに取り込んで保存する方法について説明しています。

5 もっとカメラのことが知りたいときに.............. 57

困ったときやカメラをもっと知りたいときにご覧ください。

6 資料 72

カメラを快適に使用する上での注意点や、知っておくと便利なことについて記載しています。

1 ボタンを使って操作する

❶ POWERボタン　電源を入れる／切る

電源オン：　撮影モードで電源が入ります。
- 液晶モニタ点灯
- レンズカバーが開く

❷ シャッターボタン　撮影する

静止画を撮る

ボタンを押してPまたはAUTO、、SCNのいずれかに切り換え、シャッターボタンを軽く押します（半押し）。ピントと露出が固定されると緑ランプが点灯します（フォーカスロック）。この状態でシャッターボタンを押し込んで（全押し）撮影します。

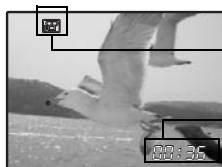
ピントを固定してから構図を決めて撮る（フォーカスロック）

フォーカスロックのまま撮影したい構図にして、シャッターボタンを押し込んで撮影します。
- 緑ランプが点滅したときは、ピントが適切ではありません。もう一度やり直してください。

ピント位置を固定する（AFロック）

撮影シーンがのときは▽ボタンを押すと、ピント位置が固定されます。もう一度▽ボタンを押すとAFロックが解除されます。
☞「SCN（シーン）　被写体に合った撮影シーンを選んで撮影する」（P.18）

ムービーを撮る

📷／((✋))／SCNボタンを押してSCNモードに切り換え、撮影シーンから🎥を選択します。音声も同時に録音します。シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影を始めます。もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了します。

ムービー撮影中は赤く点灯します。

撮影可能時間が表示されます。
0になると撮影は停止します。

❸ 📷／((✋))／SCNボタン（撮影）　撮影モードを切り換える

撮影モードにします。📷／((✋))／SCNボタンを繰り返し押すと、P／AUTO→((✋))→SCNの順で撮影モードが切り換わります。

・ 📷／((✋))／SCNボタンを押すだけで電源を入れることができます。
☞「撮影／再生　撮影ボタン／再生ボタンで電源を入れる」（P.32）

📷 静止画を撮る

カメラが自動的に設定した状態で撮影できます。

((✋)) ぶれ軽減機能を使って撮影する

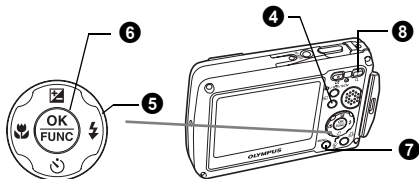
撮影時の手ぶれ、被写体のぶれによる画像の揺れを軽減します。

・ 他のモードに切り換えると、一部の設定を除き、各モードの初期設定に変わります。

SCN 被写体に合った撮影シーンで撮影する

被写体に合った撮影シーンで撮影できます。

他のシーンに切り換える

・ MENUボタンを押してトップメニューから［SCN］を選択して、他のシーンに切り換えます。
・ 他のシーンに切り換えると、一部の設定を除き、各シーンの初期設定に変わります。

❹ ▶ボタン（再生）　静止画を見る／再生モードにする

最後に撮影した画像が表示されます。
・ 他の画像を見るときは◁▷を押します。
・ ズームボタンで表示形式をクローズアップ再生／インデックス再生／カレンダー再生に切り換えることができます。
☞ ムービーの再生「ムービープレイ　ムービーを再生する」（P.23）
・ ▶ボタンを押すだけで電源を入れることができます。
☞「撮影／再生　撮影ボタン／再生ボタンで電源を入れる」（P.32）

❺ 十字ボタン（△▽◁▷）

撮影シーンや再生画面の選択、各種メニューの選択時などに使います。

❻ OK/FUNCボタン（OK／FUNC）

ファンクションメニューが表示され、撮影モードでよく使う機能の設定ができます。また、メニュー項目などの設定を確定するときに使います。

ファンクションメニューで設定できる機能

P／AUTO……………………カメラまかせで撮影する

P（プログラムオート）と**AUTO**（フルオート）を切り換えます。

P（プログラムオート）	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。
AUTO（フルオート）	絞り値やシャッター速度のほかに、ホワイトバランスやISO感度の設定などもカメラが自動的に決めます。

☞「ホワイトバランス　画像の色合いを調整する」（P.19）
「ISO感度　ISO感度を変更する」（P.19）
「ドライブ　連続して撮影する」（P.20）
「測光　明るさを測る範囲を変える」（P.20）

ファンクションメニュー

◁▷：選択肢を選択し、OK/FUNCを押します。
△▽：設定項目を選択します。

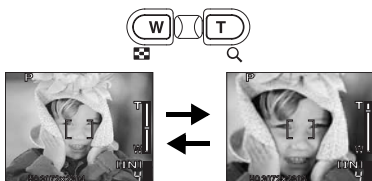
❼ MENUボタン（MENU）

トップメニューを表示します。

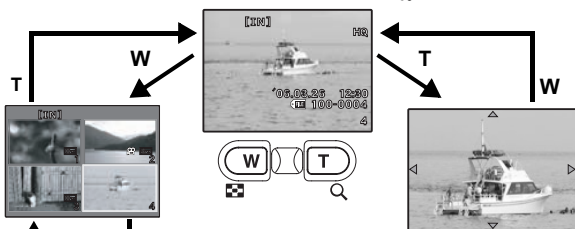
❽ ズームボタン　　ズームイン／ズームアウトして撮る・見る

撮影モード：被写体を拡大する

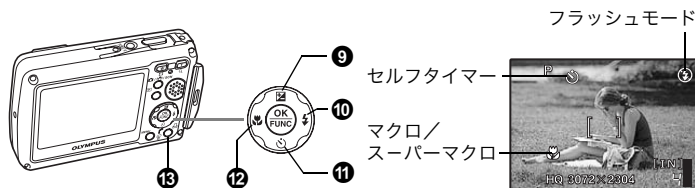
光学ズーム倍率：３倍

広角：
ズームボタンの
W側を押す

望遠：
ズームボタンの
T側を押す

再生モード：画像の表示形式を切り換える

1コマ再生
- 十字ボタン（△▽◁▷）で他の画像を再生します。

インデックス再生
- 十字ボタン（△▽◁▷）で再生する画像を選択して（OK/FUNC）を押すと、選択した画像が１コマ再生されます。

クローズアップ再生
- T側を押すごとに10倍までクローズアップ再生され、W側を押すと縮小されます。
- クローズアップ再生中に十字ボタン（△▽◁▷）を押すと、その方向に画像がスクロールします。
- １コマ再生に戻るときは（OK/FUNC）を押します。

カレンダー再生
- 十字ボタン（△▽◁▷）を押して日付を選択して（OK/FUNC）またはズームボタンのT側を押すと、選択した日付の画像が表示されます。

❾ △☑ボタン　画像の明るさを変える

設定内容を
確定します。

撮影モードで△☑ボタンを押し、露出を調整します。
･-2.0EV～+2.0EVまで調整できます。

▷：明るくします。
◁：暗くします。

❿ ▷⚡ボタン　フラッシュ撮影する

撮影モードで▷⚡ボタンを押し、フラッシュモードを選択します。
OK/FUNCを押して設定します。

（表示なし）オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
👁赤目軽減	予備発光を行い、目が赤くなる現象を軽減します。
⚡強制発光	フラッシュは必ず発光します。
ⓧ発光禁止	暗いところでも発光しません。

⓫ ▽セルフタイマー／ゴミ箱ボタン　セルフタイマー撮影する／画像を消去する

セルフタイマー撮影する

撮影モードで▽セルフタイマー／ゴミ箱ボタンを押し、セルフタイマーのオン／オフを選択します。
OK/FUNCを押して設定します。

セルフタイマー　オン	設定後、シャッターボタンを全押しします。
セルフタイマー　オフ	セルフタイマーを解除します。

・ セルフタイマーランプが約 10 秒点灯し、さらに 2 秒間点滅した後、シャッターが切れます。
・ 作動中のセルフタイマーを中止するには、▽セルフタイマー／ゴミ箱ボタンを押します。
・ セルフタイマー撮影は、1回の撮影が終わると自動的に解除されます。

画像を消去する

再生モードで消去する画像を1コマずつ表示させ、▽〈セルフタイマー〉／〈消去〉ボタンを押します。

- 消去した画像は元に戻せません。消去する前に、大切なデータを消さないよう十分に注意してください。

☞「プロテクト　画像を保護する」（P.26）

- **クローズアップ（拡大）再生中／インデックス再生中は1コマ消去はできません。**

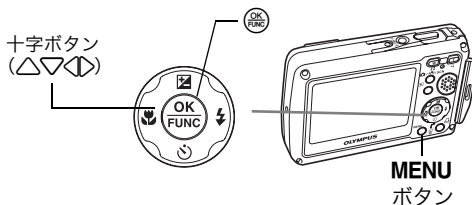
⑫ ◁〈マクロ〉ボタン　近接した被写体を撮る

撮影モードで◁〈マクロ〉ボタンを押し、マクロモードを選択します。
〈OK/FUNC〉を押して設定します。

〈マクロ〉マクロ	被写体に20cm（ズームが最も広角側にあるとき）／30cm（ズームが最も望遠側にあるとき）まで接近して撮影できます。
〈スーパーマクロ〉スーパーマクロ	被写体に7cmまで接近して撮影できます。

⑬ 〈プリント〉ボタン　画像をプリントする

再生モードでプリントする画像を表示して〈プリント〉ボタンを押します。

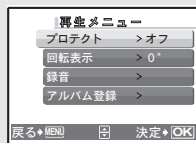
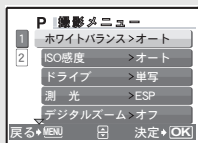
☞「かんたんプリント」（P.38）

2 メニューを使って操作する

メニューの種類と構成

MENUボタンを押すと、トップメニューが表示されます。
トップメニューに表示される内容は、モードによって異なります。

撮影モードのトップメニュー

再生モードのトップメニュー

- ［撮影メニュー］［再生メニュー］［編集］［消去］［設定］を選ぶと、さらにメニュー項目を選択する画面が表示されます。

［撮影メニュー］を選んだ場合

［再生メニュー］を選んだ場合

メニューの操作方法

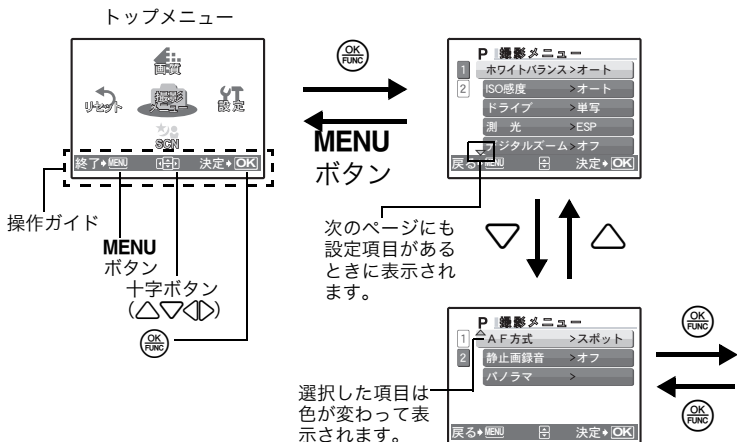
メニューは十字ボタン（△▽◁▷）と㊋を使って設定します。
ここでは［AF方式］の設定を例として、メニューの操作方法について説明します。

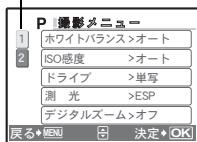
撮影モードまたは再生モードを選択します。
- ここでは📷／((✋))／SCNボタンを押してPに切り換えます。

1 MENU ボタンを押してトップメニューを表示させ、㊋を押します。

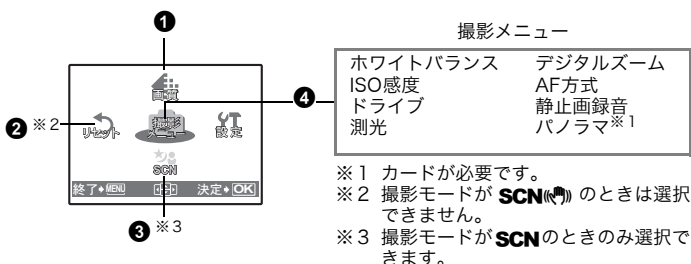
- ［AF方式］は［撮影メニュー］内のメニューです。ここでは㊋を押します。
- 他のメニューを表示するときは、十字ボタン（△▽◁▷）で選択し㊋を押します。
- トップメニューを終了するときは、MENUボタンを押します。

2 △▽を押して設定する項目を選択し、㊋を押します。

- ［AF方式］は6番目のメニュー項目なので、▽を5回押して、㊋を押します。
- 設定できない項目は選択できません。

3 △▽を押して選択肢を選択し、OK/FUNCを押します。

- ここでは［iESP］［スポット］から選択し、OK/FUNC を押します。
- メニュー項目が設定され、一つ前のメニューに戻ります。

次のページにも設定項目があるときは、手順2の画面で◁を押すと、カーソルがページ表示に移動します。
△▽を押すとページを切り換えることができます。
戻るときは▷またはOK/FUNCを押します。

撮影に関するメニュー SCN

※1 カードが必要です。
※2 撮影モードが SCN のときは選択できません。
※3 撮影モードが SCN のときのみ選択できます。

☞「設定に関するメニュー」（P.31）

・ 撮影モードによっては、選択できないメニュー項目があります。
☞「撮影モード／撮影シーン別設定可能な機能」（P.68）

・ メニュー項目の初期設定は ▭ で示しています。

❶ 画質　用途に合わせて画質を変更する

静止画の画質の種類とその用途

画質／画像サイズ		圧縮	使用例
SHQ	3072×2304	低圧縮	• A4など大きなサイズできれいにプリントするのに適している。 • パソコンでコントラストの調整や赤目補正などの加工を行うのに適している。
HQ	3072×2304	標準圧縮	
SQ1	2560×1920	標準圧縮	• はがき大のプリントに適している。 • パソコンで画像上に文字を入力したり、画像の回転などの編集を行うのに適している。
	2304×1728		
	2048×1536		
SQ2	1600×1200	標準圧縮	• パソコンで画像を見るのに適している。
	1280×960		
	1024 ×768		• メールに添付して送信するのに適している。
	640×480	低圧縮	

ムービーの画質の種類

画質／画像サイズ	
SHQ	640×480
HQ	320×240
SQ	160×120

❷ リセット　撮影機能を初期設定に戻す

中止 ／実行

撮影モードが**P**または**AUTO**のときに、現在設定されている撮影機能を初期設定に戻します。

リセット機能を実行したときに設定が元に戻る機能

機能名	初期設定	参照頁
露出補正	0.0	P.12
フラッシュ	オート発光	P.12
セルフタイマー	セルフタイマー　オフ	P.12
マクロ	マクロ　オフ	P.13
画質	HQ	P.17
ホワイトバランス	オート	P.19
ＩＳＯ感度	オート	P.19
ドライブ	単写	P.20
測光	ESP	P.20
デジタルズーム	オフ	P.20
ＡＦ方式	スポット	P.21
静止画録音	オフ	P.21

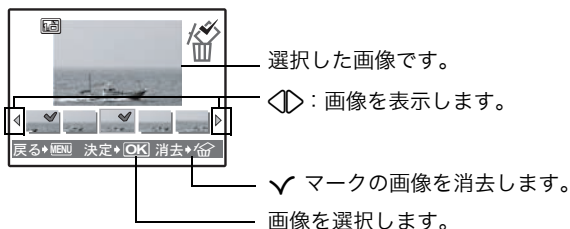
❸ SCN（シーン）　被写体に合った撮影シーンを選んで撮影する

シーン選択画面に、サンプル画像とどのような撮影に適しているかが表示されます。
・ 他のシーンに切り換えると、一部の設定を除き、各シーンの初期設定に変わります。

シーン選択

シーンを決定します。

[ショット&セレクト1][ショット&セレクト2]について

・ シャッターボタンを押し続けて撮影します。撮影後、消去する画像を選択して✓マークをつけ、▽◌/⌂ボタンを押して消去します。

❹ 撮影メニュー

ホワイトバランス……画像の色合いを調整する

オート		光源によらず、自然な色合いで写るよう自動的に調整
晴天	☼	晴れた屋外で撮影
曇天	☁	曇った屋外で撮影
電球	💡	電球の灯りで撮影
蛍光灯1	蛍1	昼光色の蛍光灯の灯りでの撮影(主に家庭で使用する蛍光灯など)
蛍光灯2	蛍2	昼白色の蛍光灯の灯りで撮影(主にデスクのスタンドなど)
蛍光灯3	蛍3	白色の蛍光灯の灯りで撮影(主にオフィスなど)

ISO感度……ISO感度を変更する

オート	被写体の条件に合わせて自動的に感度が変わります。
64/100/200/400/800/1600	数値が小さいと感度が低くなり、日中の撮影に最適でシャープな画像を撮ることができます。数値が大きいほど感度が高く、速いシャッター速度で撮影ができます。より暗いところ(光量が少ないところ)での撮影が可能になりますが、感度が高くなるにつれ電気的なノイズが増えて画像が粗くなります。

ドライブ ……………………………………………連続して撮影する

単写	一度シャッターを押すと、1コマだけ撮影されます。
連写	最初の1コマでピント、明るさ（露出）、ホワイトバランスが固定されます。記録する画質設定によって連写速度が異なります。
高速連写	通常の連写より高速で連写できます。

シャッターボタンを押している間、静止画を連続して撮影します。シャッターボタンから指をはなすと連写は止まります。

・［高速連写］で撮影すると、［画質］が［2048×1536］以下に制限されます。

測光 ……………………………………………明るさを測る範囲を変える

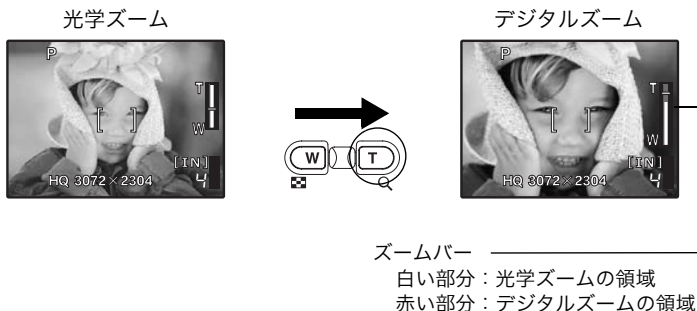
ESP	画面の中央と周辺を個別に測光して画面全体でバランスのとれた撮影を行います。強い逆光では、中央が暗く撮影されることがあります。
スポット	画面中央のみを測光するので、逆光での中央の被写体を撮るのに適しています。

デジタルズーム ……………………………………被写体を大きく撮影する

オフ	／オン

光学ズームよりさらに拡大して撮影できます（光学ズーム×デジタルズーム：最大15倍）。

光学ズーム

ズームバー
白い部分：光学ズームの領域
赤い部分：デジタルズームの領域

AF方式 .... ピントを合わせる範囲を変える

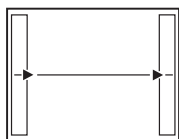
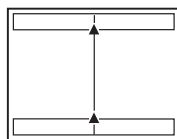
iESP	画面の範囲内からピントを合わせる被写体を判断します。被写体が中央にない場合もピントは合います。
スポット	AFターゲットマーク内の被写体にピントを合わせます。

静止画録音 .... 撮影時に音声を録音する

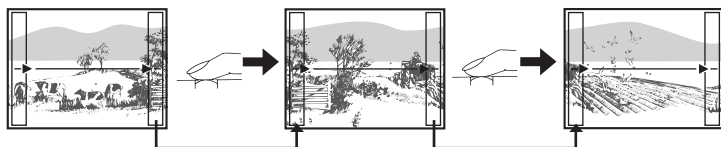
オフ ／オン

シャッターボタンを押し切ってから、約0.5秒後に録音がスタートして約4秒間録音します。
録音中は、カメラのマイクを録音する対象に向けてください。

パノラマ .... パノラマ合成用画像を撮影する

OLYMPUS Master（付属のCD-ROMに収録）を使って、パノラマ画像を作成するための撮影をします。撮影には当社製のxD-ピクチャーカードが必要です。

左から右へ画像をつなぐ撮影をする場合

下から上へ画像をつなぐ撮影をする場合

▷：次の画像を右につなげます。
◁：次の画像を左につなげます。
△：次の画像を上につなげます。
▽：次の画像を下につなげます。

十字ボタン（△▽◁▷）でつなげる方向を指定し、被写体の端が重なるように構図を変えながら撮影します。パノラマ撮影時には、前に撮影した位置合わせ用の画像は残りません。画面に表示される枠を目安に画像の位置を覚えておき、枠の中に前に撮影した画像の端が重なるように構図を設定してください。

最大10枚までパノラマ撮影が可能です。終了するときは**MENU**ボタンを押します。

再生に関するメニュー

静止画を選択したとき

❶ スライドショー　❺ 編集　❻ プリント予約 ※1※3
❸ カレンダー　再生メニュー　設定
❹ インデックス　❽ 消去　❼　❾ アルバム ※1
終了➡MENU　決定➡OK

編集※1
- リサイズ
- 赤目補正
- モノクロ作成
- セピア作成
- フレーム合成
- タイトル合成
- カレンダー合成
- 明るさ調整
- 鮮やかさ調整

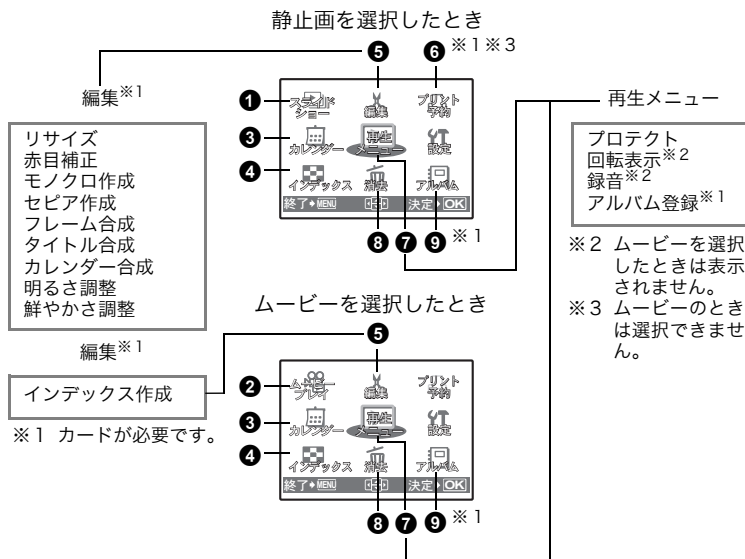
再生メニュー
- プロテクト
- 回転表示※2
- 録音※2
- アルバム登録※1

※2 ムービーを選択したときは表示されません。
※3 ムービーのときは選択できません。

ムービーを選択したとき

❷ ムービープレイ　❺ 編集　プリント予約
❸ カレンダー　再生メニュー　設定
❹ インデックス　❽ 消去　❼　❾ アルバム ※1
終了➡MENU　決定➡OK

編集※1
- インデックス作成

※1 カードが必要です。

☞「設定に関するメニュー」（P.31）

・ メニュー項目の初期設定は ■ で示しています。

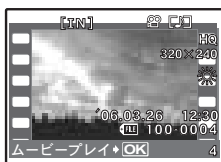
❶ スライドショー　画像を自動再生する

・ ［BGM］の［オン］［オフ］を設定します。
・ ［スタイル選択］から画像の表示スタイルを選択します。

BGM	オン／オフ
スタイル選択	標準
	フェード
	スライド
	ズーム

・ ムービーコマは、最初のフレームのみが静止画と同じように再生されます。
・ ［BGM］［スタイル選択］を設定後、OK/FUNC を押すとスライドショーがスタートします。
・ スライドショーを中止するときは、OK/FUNCまたは**MENU**ボタンを押します。

❷ ムービープレイ　　ムービーを再生する

トップメニューから［ムービープレイ］を選択し㊊を押すと、ムービーが再生されます。ムービーアイコン（🎥）のついている画像を選択し、㊊を押して再生することもできます。

ムービー再生中の操作

再生時間／録画時間

△：音量を大きくします。
▽：音量を小さくします。

▷：押すたびに再生速度が1倍 - 2倍 - 20倍 - 1倍に変わります。
◁：押すたびに逆再生の速度が1倍 - 2倍 - 20倍 - 1倍に変わります。

・㊊を押すと一時停止します。

一時停止中の操作

△：先頭のコマを表示します。
▽：末尾のコマを表示します。

▷：次のコマを表示します。
◁：前のコマを表示します。

・ムービーを再開するときは、㊊を押します。

・ムービー再生中、または一時停止中にムービーの再生を中止するときは、**MENU**ボタンを押します。

❸ カレンダー　画像をカレンダー再生する

撮影した日付ごとに、画像をカレンダー形式で再生します。
☞「ズームボタン　ズームイン／ズームアウトして撮る・見る」（P.11）

❹ インデックス　画像を一覧で見る

複数の画面を９分割で一覧表示します。
☞「ズームボタン　ズームイン／ズームアウトして撮る・見る」（P.11）

❺ 編集

カードに記録した画像を編集し、別の画像として保存します。

リサイズ .... 撮った画像のサイズを変更する

640 × 480	／320 × 240

静止画の画像サイズを変更し、別の画像として保存します。

赤目補正 .... 撮った画像の赤目を補正する

フラッシュを使って撮影した人物の赤目を補正します。

モノクロ作成 .... 撮った画像をモノクロにする

静止画を白黒の別の画像として作成します。

セピア作成 .... 撮った画像をセピア色にする

静止画をセピア色の別の画像として作成します。

フレーム合成 .... 撮った画像にフレームを合成する

フレームを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。

- ◁▷でフレームを選択し、㊫を押します。
- ◁▷で合成する画像を選択し、㊫を押します。（△▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。）
- 十字ボタン（△▽◁▷）とズームボタンを押して画像の位置と大きさを調整し、㊫を押します。

タイトル合成……撮った画像にタイトルを合成する

タイトルを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、OK/FUNCを押します。
- ◁▷でタイトルを選択し、OK/FUNCを押します。（△▽を押してタイトルを時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。）
- 十字ボタン（△▽◁▷）とズームボタンを押してタイトルの位置と大きさを調整し、OK/FUNCを押します。
- 十字ボタン（△▽◁▷）でタイトルの色を設定し、OK/FUNCを押します。

カレンダー合成……撮った画像にカレンダーを合成する

カレンダーを選択して画像と合成し、別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、OK/FUNCを押します。
- ◁▷でカレンダーを選択し、OK/FUNCを押します。（△▽を押して画像を時計方向に90度ずつ、反時計方向に90度ずつ回転することができます。）
- カレンダーの日付を設定し、OK/FUNCを押します。

明るさ調整……撮った画像の明るさを変更する

画像の明るさを調整して、別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、OK/FUNCを押します。
- △▽で明るさを調整し、OK/FUNCを押します。

鮮やかさ調整……撮った画像の色の濃さを変更する

画像の色の濃さを調整して、別の画像として保存します。

- ◁▷で画像を選択し、OK/FUNCを押します。
- △▽で色の濃さを調整し、OK/FUNCを押します。

インデックス作成……ムービーからインデックス画像を作る

ムービーの内容がわかるように、ムービーから9コマの画像を抜き出して1つの静止画として新規保存（インデックス作成）します。

❻ プリント予約　　プリント予約（DPOF）する

カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記録させます。

☞「プリント予約（DPOF）」（P.43）

❼ 再生メニュー

プロテクト ………………………… 画像を保護する

オフ	／オン

プロテクトされた画像は［1コマ消去］［選択消去］［全コマ消去］では消去できませんが、初期化を行うとすべて消去されます。

・◁▷で画像を選択し、プロテクトするときは△▽で［オン］を選択します。続けて複数のコマをプロテクトすることができます。

回転表示 ………………………… 画像を回転させる

＋90°	／	0°	／-90°

カメラを縦に構えて撮影した画像は、横向きに表示されます。このような横向きの画像を回転して縦向きに表示します。電源を切っても、画像が回転された状態は保持されます。

+90°　　0°　　-90°

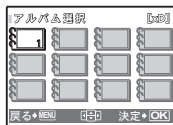
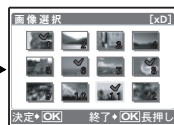
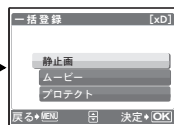
録音 ………………………… 撮った画像に音声を録音する

音声は約4秒間録音できます。

・［スタート］が表示されたら、カメラの録音マイクを録音したい対象に向けて OK/FUNC を押します。
・録音が開始され、録音中を示すバーが表示されます。

アルバム登録 .... 撮影した画像をアルバムに入れる

カードに記録した画像をカード内のアルバムに分類して登録し、整理することができます。内蔵メモリの画像はアルバムに登録できません。

☞「アルバム再生に関するメニュー」（P.29）

1コマずつ選んで登録する

- 十字ボタン（△▽◁▷）で画像を選んで㊎を押して✓を付けます。
- 再度㊎を押すと選択が解除されます。
- 選択が終了したら㊎を長押しします。

同じ日付に撮影した画像を登録する

十字ボタン（△▽◁▷）で画像が表示された日付を選び、㊎を押します。

静止画／ムービー／プロテクトした画像だけを登録する

❽ 消去　画像を選んで消去する／すべて消去する

プロテクトされている場合は消去できません。画像のプロテクトを解除してから消去してください。また、消去した画像は元に戻せません。消去する前に大切なデータを消さないように十分に注意してください。

・ 内蔵メモリの画像を消去するときは、カードをカメラに入れないでください。
・ カード内の画像を消去するときは、あらかじめカードをカメラに入れてください。

選択消去 1コマずつ選んで消去する

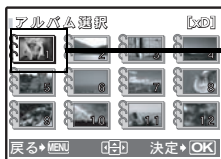
・ ◁▷で画像を選んでⓄを押して✓を付けます。
・ 再度Ⓞを押すと選択が解除されます。
・ 選択が終了したら▽/◎ボタンを押します。
・ ［消去］を選択し、Ⓞを押します。

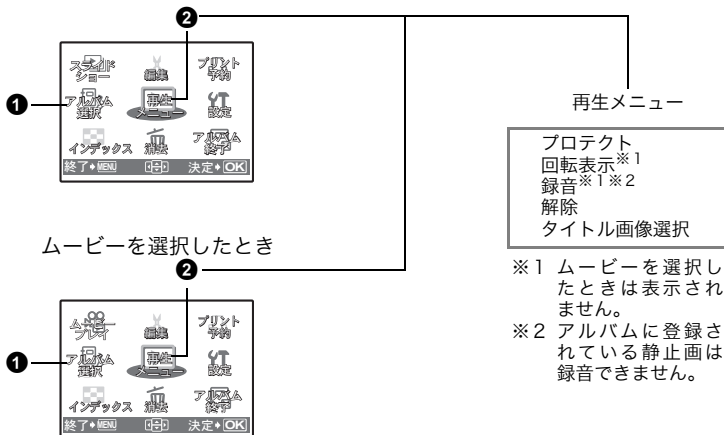
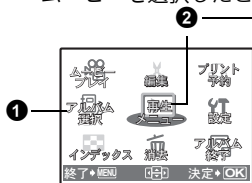
全コマ消去 .... 内蔵メモリ／カードの画像をすべて消去する

・［消去］を選択し、Ⓞを押します。

❾ アルバム　アルバムに登録されている画像を見る

十字ボタン(△▽◁▷)でアルバムを選択し、Ⓞを押します。

◁▷で見たい画像を表示します。

アルバム再生に関するメニュー

・ カードが必要です。

☞「スライドショー　画像を自動再生する」（P.22）
「ムービープレイ　ムービーを再生する」（P.23）
「プリント予約（DPOF）」（P.43）
「設定に関するメニュー」（P.31）
「消去　画像を選んで消去／すべて消去する」（P.28）

❶ アルバム選択　　他のアルバムを見る

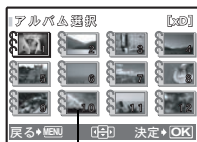
他のアルバムに切り換えるときは、［アルバム選択］から選択しなおします。
☞「アルバム　アルバムに登録されている画像を見る」（P.28）

❷ 再生メニュー

解除 ....アルバム登録を解除する

アルバム登録を解除するだけで、カードには画像が残っています。

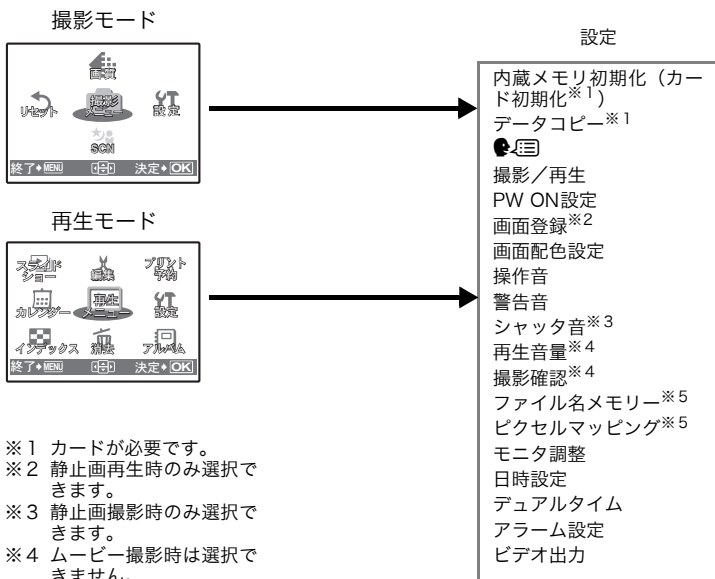
選択解除	1コマずつ選んで解除する
	• 十字ボタン（△▽◁▷）で画像を選んで㊂を押して✓を付けます。 • 再度㊂を押すと選択が解除されます。 • 選択が終了したら㊂を長押しします。
全コマ解除	アルバム内すべての画像の登録を解除する

タイトル画像選択..アルバムの表紙を選ぶ

アルバム選択画面に表示されるタイトル画像（アルバム内のコマ番号1の画像）を変更できます。

タイトル画像（アルバム内のコマ番号1の画像）

その他のアルバム再生に関する再生メニュー

☞「プロテクト　画像を保護する」（P.26）
「回転表示　画像を回転させる」（P.26）

設定に関するメニュー

内蔵メモリ初期化（カード初期化）............ 内蔵メモリ／カードを初期化する

初期化するとプロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。カードを初期化するときは大切なデータが記録されていないことを確認してください。

- 内蔵メモリを初期化する場合は、カードを入れないでください。
- 内蔵メモリを初期化すると、付属のソフトOLYMPUS Masterを使ってダウンロードしたフレームやタイトルのデータも消去されます。
- カードを初期化する場合は、あらかじめカードを入れてください。
- 当社製以外のカードやパソコンで初期化したカードを使用する場合は、必ずこのカメラで初期化しなおしてください。

データコピー.. 内蔵メモリの画像をカードにコピーする

別売のカードをカメラに入れてください。データコピーをしても内蔵メモリ内の画像は消去されません。

- データコピーは時間がかかります。実行前に電池の残量が充分にあることを確認してください。またはACアダプタをご使用ください。

(言語アイコン) .... 表示する言語を切り換える

液晶モニタのメニュー表示やエラーメッセージを日本語でなく、他の言語にすることができます。日本語に戻すこともできます。
OLYMPUS Masterを使って、表示する言語を増やすことができます。

撮影／再生 .... 撮影ボタン／再生ボタンで電源を入れる

起動する	• (撮影)／(手ぶれ)／SCNボタンを押すと電源が入り、撮影モードで起動します。 • (再生)ボタンを押すと電源が入り、再生モードで起動します。
起動しない	電源は入りません。電源を入れるときはPOWERボタンを押してください。

PW ON設定 .... 起動画面／音量を設定する

画面	オフ（画面表示なし）／1／2（[画面登録] した画像）
音量	オフ（無音）／小／大

電源を入れたときに表示される画面と音量を設定します。[画面] を [オフ] に設定した場合は、[音量] の設定はできません。

- [SCN] を [マナーショット] に設定していても、カメラの電源を切って再度電源を入れると、[PW ON設定] の [音量] を [小] または [大] にしているときは、カメラの起動音が出ます。
  起動音を出したくない状況のときは、あらかじめ [音量] を [オフ] に設定してください。

画面登録 .... 画像を起動画面として登録する

内蔵メモリまたはカードに保存されている静止画を [PW ON設定] の画面 [2] に登録します。
すでに画像が登録されている場合は、登録済みの画像を解除して新たに画像を登録するかどうか確認するメッセージが表示されます。

画面配色設定 .... メニュー画面などの色を設定する

標準	／ブルー	／ブラック	／ピンク

操作音 .... ボタンを押したときの操作音の音量を調整する

オフ（無音）／	小	／大

警告音 .... カメラの警告音の音量を調整する

オフ（無音）／	小	／大

2 メニューを使って操作する

シャッタ音 ....シャッターボタンを押したときの音色と音量を選択する

オフ（無音）		
1	小	／大
2	小	／大
3	小	／大

再生音量 ....画像を再生するときの音量を調整する

オフ（無音）／小　／大

撮影確認 ....撮影後すぐに画像を確認する

オフ	記録中の画像は表示されません。次の撮影のために被写体を追いながら撮影する場合に便利です。
オン	撮影した画像を記録中に表示します。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。表示中でもすぐに次の撮影に入ることができます。

ファイル名メモリー ....画像のファイル名をリセットする

リセット	カード別に画像を管理するときに便利です。 カードを入れ換えたときにフォルダNo.、ファイルNo.が両方ともリセットされます。フォルダNo.は「No.100」に、ファイルNo.は「No.0001」に戻ります。
オート	すべての画像を通し番号で管理するのに便利です。 カードを入れ換えても、フォルダNo.、ファイルNo.とも前のカードから継続されます。複数のカードを管理するときでも、ファイル名が重複することがありません。

記録される画像には、ファイル名とそのファイルが入るフォルダ名がカメラ内部で自動的に生成されます。ファイル名はファイルNo.（0001～9999）を、フォルダ名はフォルダNo.（100～999）を含み、以下のように付けられます。

フォルダ名　ファイル名

￥DCIM ￥***OLYMP ￥Pmdd****.jpg

フォルダNo.（100～999）
月（1～C）
日（01～31）
ファイルNo.（0001～9999）

ファイル名の「月」の表記は、1月～9月は1～9、10月はA、11月はB、12月はCとなります。

2 メニューを使って操作する

ピクセルマッピング……………………………画像処理機能を調整する

CCDと画像処理機能のチェックと調整を同時に行います。この機能は、すでに工場出荷時に調整済みのため、お買い上げ後すぐに調整する必要はありません。調整は、年に一度を目安とし、最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けて実行します。処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

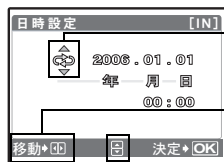
[ピクセルマッピング] を選択して [スタート] が表示されたら、(OK/FUNC)を押します。

モニタ調整……………………………液晶モニタの明るさを調整する

設定が決まったら(OK/FUNC)を押します。

△：明るくなる　▽：暗くなる

日時設定……………………………日付・時刻を設定する

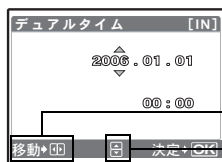
日時の情報は画像とともに記録され、日時の情報をもとにファイル名が付けられます。

△▽：日付の順序（年／月／日、月／日／年、日／月／年）を選択する

◁▷：前／次の項目に移動する

△▽：各項目を設定する

- ［年］の上 2 桁は固定されています。
- カメラの時間表示は24時間表示です。
- 0秒の時報に合わせて(OK/FUNC)を押すと、正確に時間を合わせられます。

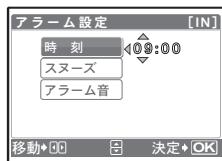
デュアルタイム……時差をつけて日時設定する

オフ	[日時設定] で設定した時刻に切り換えます。
オン	[デュアルタイム] で設定した時刻に切り換えます。デュアルタイムを設定するとき、[オン] を選択してから時刻を設定します。

・ 日付は、[日時設定] で設定した順序になります。
・ [年] の上 2 桁は固定されています。
・ カメラの時間表示は24時間表示です。
・ 0秒の時報に合わせて OK/FUNC を押すと、正確に時間を合わせられます。

アラーム設定……アラームを設定する

オフ	アラームの設定なし／解除
1回	1回のみアラームを実行します。
毎日	毎日、設定した時間にアラームを実行します。

・ [日時設定] が設定されていない場合は、[アラーム設定] はできません。
・ [デュアルタイム] が [オン] に設定されている場合は、デュアルタイムの設定日時でアラームが作動します。

アラームを設定するには

・ [1 回] または [毎日] を選択してから、アラームの時間を設定します。
・ スヌーズやアラーム音の種類、音量を設定することができます。

時刻	アラームの時刻を設定	
スヌーズ	オフ	スヌーズなし
	オン	5 分間隔で最大7 回アラーム
アラーム音	1　小／中／大	
	2　小／中／大	
	3　小／中／大	

アラームの作動／停止／確認

- 作動させる場合：
  カメラの電源を切ってください。アラームはカメラの電源が切れている状態でのみ作動します。
- 停止する場合：
  アラーム作動中にカメラのいずれかのボタンを押すと、アラームが停止してカメラの電源が切れます。ただしPOWERボタンまたは撮影／手ぶれ／SCNボタン、再生ボタンを押すとカメラの電源が入ります（撮影／手ぶれ／SCNボタン、再生ボタンは、［撮影／再生］を［起動する］に設定しているときのみ）。
  このとき［スヌーズ］が［オン］に設定されていた場合、設定は解除されます。
  ［スヌーズ］が［オフ］の場合、何も操作しないで1分間経過すると、自動的にアラームが停止してカメラの電源が切れます。

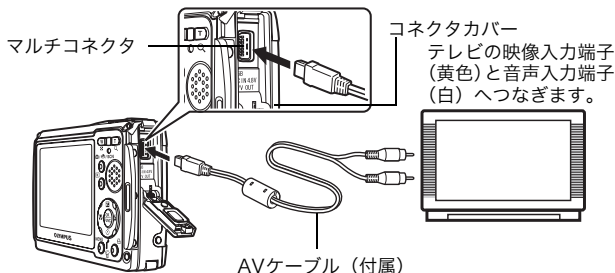
ビデオ出力 .... テレビで再生するときの設定をする

NTSC	／PAL

カメラの画像をテレビで再生するためにお使いのテレビの映像信号に合わせて設定します。

- 主な国と地域のテレビ映像信号は次のとおりです。カメラをテレビに接続する前に、あらかじめご確認ください。
  NTSC：日本、北米、台湾、韓国
  PAL：ヨーロッパ諸国、中国

テレビで再生するとき

カメラとテレビの電源を切って接続します。

カメラ側の設定

再生ボタンを押して、カメラの電源を入れます。

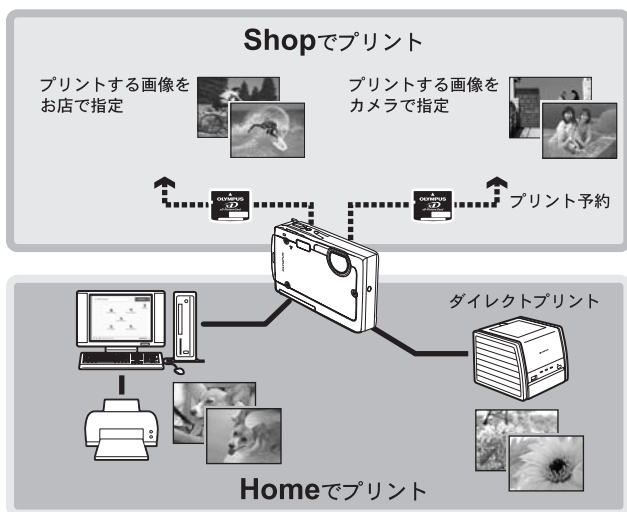
- 最後に撮影した画像がテレビに表示されますので、◁▷で表示する画像を選択します。

テレビ側の設定

テレビの電源を入れて［ビデオ入力］に設定します。

- ビデオ入力の設定方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3　プリントする

撮影した画像をプリントしましょう。
自分でプリントする時は、デジタルカメラを専用プリンタに直接接続して印刷する方法（ダイレクトプリント）と、パソコンに取り込んでパソコンに接続されたプリンタで印刷する方法があります。
お店でプリントする時は、カードにプリント予約をしておくと便利です。プリント予約をすると、DPOF対応のプリンタやDPOF対応のプリントショップで簡単にプリントすることができます。DPOFとは、デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するための規格です。プリントショップや家庭でのプリントアウトで自動プリントが可能なように、プリントしたい画像や枚数などの指定を記録します。
ここでは、ダイレクトプリントとプリント予約について説明します。

ダイレクトプリント（PictBridge）

ダイレクトプリントについて

カメラをPictBridge対応プリンタに接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。カメラの液晶モニタを見ながら操作します。
お使いのプリンタがPictBridgeに対応しているかどうかは、プリンタの取扱説明書でお確かめください。

PictBridgeとは
異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

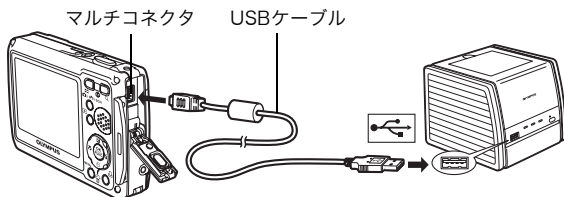
・ 使用できるプリントモード、用紙サイズなどの設定項目は、お使いのプリンタによって選択できる項目が異なる場合があります。プリンタの取扱説明書をご覧ください。
・ プリントできる用紙の種類、用紙やインクカセットの取り付け方については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。

かんたんプリント

［かんたんプリント］の機能を使って、液晶モニタで表示している画像を1枚プリントします。
画像を1枚、お使いのプリンタの標準設定でプリントします。日付やファイル名はプリントされません。

標準設定とは
PictBridge対応プリンタには、それぞれプリント条件の標準設定があります。各設定画面（P.40～41）で［⎙標準設定］を選択すると、この設定にしたがってプリントされます。
標準設定の内容については、お使いのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタメーカーにおたずねください。

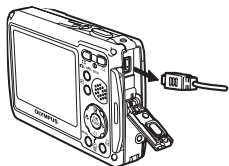
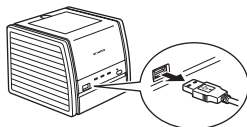
1 再生モードで、プリントしたい画像を液晶モニタに表示します。

2 プリンタの電源を入れて、カメラ付属のUSBケーブルでカメラのマルチコネクタとプリンタのUSBポートを接続します。

- かんたんプリント開始の画面が表示されます。
- プリンタの電源の入れ方およびUSB端子の位置は、お使いのプリンタの取扱説明書でご確認ください。

3 ボタンを押します。

- プリントが開始されます。

- プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは、◁▷を押して画像を選択し、ボタンを押します。
- 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。

4 カメラから USB ケーブルを抜きます。

5 プリンタから USB ケーブルを抜きます。

カメラの電源を切った状態または撮影モードでも［かんたんプリント］をすることができます。電源オフの状態または撮影モードでUSBケーブルを接続すると、USBケーブルの接続先の選択画面が表示されますので［かんたんプリント］を選択します。

☞「かんたんプリント」手順3（P.39）、「カスタムプリント」手順2（P.40）

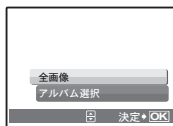
3 プリントする

その他のプリントモードとプリント設定（カスタムプリント）

1 P.38の手順1、2にしたがい右の画面を表示して㊉を押します。

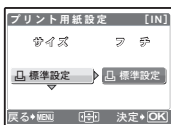
2 ［カスタムプリント］を選択し、㊉を押します。

3 操作ガイドにしたがってプリントの各設定をします。

プリント対象を選ぶ（カード使用時のみ）

全画像	カード内の全画像からプリントする画像を選択します。
アルバム選択	アルバムを選択してその中からプリントする画像を選びます。

プリントモードを選ぶ

プリント	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	内蔵メモリまたはカードの中の全画像をプリントします。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	内蔵メモリまたはカードの中の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
予約プリント	プリント予約の内容にしたがってプリントします。プリント予約された画像が無いときは、選択できません。☞「プリント予約（DPOF）」（P.43）

プリント用紙を設定する

サイズ	お使いのプリンタで使用できる用紙サイズから選択できます。
フチ	フチの有無を選択できます。マルチプリントモードの場合、フチの選択はありません。
有り（▣）	用紙の周辺に余白をつけてプリントします。
無し（□）	用紙いっぱいにプリントします。
分割数	マルチプリントモードの場合のみ選択できます。分割数はお使いのプリンタの種類によって異なります。

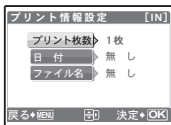
ご注意

- ［プリント用紙設定］画面が表示されない場合、［サイズ］と［フチ］、または［分割数］の設定は標準設定になります。

プリントする画像を選ぶ

プリント	表示している画像が1枚プリントされます。[1枚予約]または[詳細予約]されているときは予約の内容でプリントされます。
1枚予約	表示している画像をプリント予約します。
詳細予約	表示している画像のプリント枚数やプリントする情報を設定します。

◁▷を押してプリントする画像を選択します。ズームボタンを押してインデックス表示して選択することもできます。

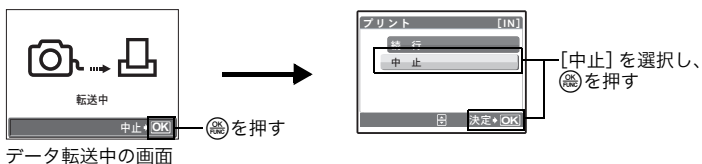
プリント枚数とプリントする情報を設定する

プリント枚数	プリント枚数を設定します。枚数は10枚まで設定できます。
日付（◷）	［有り］を選択すると、画像に日付がプリントされます。
ファイル名（FILE）	［有り］を選択すると、画像にファイル名がプリントされます。

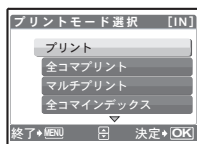
4 ［プリント］を選択し、OK/FUNCを押します。

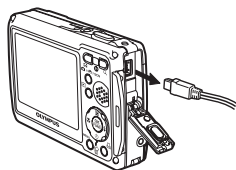
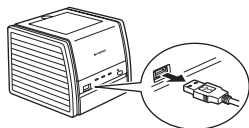
- プリントが開始されます。
- プリントが終了すると［プリントモード選択］画面が表示されます。

3 プリントする

プリントを途中で中止するには

データ転送中の画面

5 **[プリントモード選択] 画面で、MENU ボタンを押します。**

- メッセージが表示されます。

6 **カメラから USB ケーブルを抜きます。**

- カメラの電源が切れます。

7 **プリンタから USB ケーブルを抜きます。**

3 プリントする

プリント予約（DPOF）

プリント予約とは

プリント予約とは、カード内の画像にプリントする枚数や日付を印刷する指定を記憶させることです。

プリント予約は、カードに記録された画像にのみ設定することができます。あらかじめ画像が記録されているカードをカメラに入れてください。

プリント予約した画像は以下の方法でプリントできます。

DPOF対応のプリントショップでプリントする

予約されている内容に従ってプリントできます。

DPOF対応のプリンタでプリントする

パソコンを使わずに、専用プリンタから直接プリントできます。詳しくはお使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。PCカードアダプタが必要な場合もあります。

ご注意

- 他の DPOF 機器で設定された DPOF 予約内容をこのカメラで変更することはできません。予約した機器で変更してください。また、このカメラで新たにDPOF予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- DPOF予約で予約できる枚数は、1枚のカードにつき999枚までです。
- プリンタまたはプリントショップにより、一部機能が制限されることがあります。

DPOFを使用せずにプリントサービスを利用される方へ

- 内蔵メモリの画像をプリントショップでプリントすることはできません。カードにコピーしてプリントショップへお持ちください。☞「データコピー　内蔵メモリの画像をカードにコピーする」（P.31）
- プリントショップなどのプリントサービスをご利用になる場合は、プリントする画像は必ずファイル番号で指定してください。コマ番号で指定すると間違った画像がプリントされる場合があります。
  ファイル番号は、画像を再生したときに、約3秒間表示されます。

ファイル番号

（例） FILE 100—0004
フォルダの通し番号　画像の通し番号

3 プリントする

1コマ予約する

操作ガイドにしたがって1枚の画像をプリント予約してみましょう。

1 再生モードで **MENU** ボタンを押して、トップメニューを表示します。

2 [プリント予約] ▸ [1コマ予約]の順で選択し、㊙を押します。

- アルバム再生時：トップメニュー ▸ [プリント予約] ▸ [1コマ予約]

操作ガイド

3 ◁▷を押してプリント予約したいコマを選択し、△▽を押してプリント枚数を設定します。

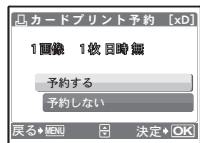
- 🎞のついた画像はプリント予約できません。
- 複数の画像をプリント予約する場合は、手順3を繰り返します。

[xD] × 0　HQ　'06.03.26 12:30　100-0004　4　移動　決定 OK

4 プリント予約が終わったら㊙を押します。

5 日時の種類を選択し、㊙を押します。

無し　画像のみプリントされます。
日付　画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻　画像と撮影時刻がプリントされます。

6 [予約する] を選択し、㊙を押します。

全コマ予約する

カード、またはアルバム内の全画像をプリント予約します。プリント枚数は1枚固定です。

1 再生モードで **MENU** ボタンを押して、トップメニューを表示します。

2 [プリント予約] ▸ [全コマ予約] の順で選択し、㊙を押します。

- アルバム再生時：トップメニュー ▸ [プリント予約] ▸ [全コマ予約]

3 日時の種類を選択し、OK/FUNCを押します。

無し　画像のみプリントされます。
日付　すべての画像に撮影年月日がプリントされます。
時刻　すべての画像に撮影時刻がプリントされます。

4 ［予約する］を選択し、OK/FUNCを押します。

プリント予約を解除する

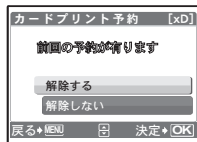
すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

1 トップメニュー ▶［プリント予約］の順で選択し、OK/FUNCを押します。

- アルバム再生時：トップメニュー ▶［プリント予約］

すべての予約を解除する

2 ［1コマ予約］または［全コマ予約］を選択し、OK/FUNCを押します。

3 ［解除する］を選択し、OK/FUNCを押します。

1コマずつ予約を解除する

2 ［1コマ予約］を選択し、OK/FUNCを押します。

3 ［解除しない］を選択し、OK/FUNCを押します。

4 ◁▷を押してプリント予約を解除したいコマを選択し、▽でプリント枚数を0に設定します。

- 複数の画像のプリント予約を解除する場合は、手順4を繰り返します。

5 プリント予約の解除が終わったらOK/FUNCを押します。

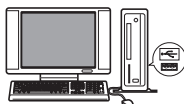
6 日時の種類を選択し、OK/FUNCを押します。

- プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。

7 ［予約する］を選択し、OK/FUNCを押します。

4　パソコンと接続する

操作の流れ

カメラをパソコンにUSBケーブルで接続して、カメラの内蔵メモリまたはカードに保存されている画像を付属のOLYMPUS Masterを使ってパソコンに取り込みます。

付属のOLYMPUS Masterを使う

OLYMPUS Masterとは

OLYMPUS Masterはデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで楽しむためのアプリケーションソフトウェアです。パソコンにインストールすると、以下のようなことができます。

- **カメラやメディアから画像を取り込む**
- **画像を見る・ムービーを見る**
  - ・スライドショーを楽しんだり、サウンドを再生することもできます。
- **画像を整理・管理する**
  - ・カレンダー形式で表示して画像を管理します。撮影日時やキーワードから、目的の画像をすばやくみつけることができます。
- **画像を編集する**
  - ・画像の回転や反転、トリミング、サイズ変更などの編集ができます。
- **フィルタ機能、補正機能で画像を補正する**
- **プリンタを使ってプリントする**
  - ・インデックスプリントやカレンダー、ポストカードなど多彩なプリントが楽しめます。
- **パノラマ写真を作る**
  - ・パノラマモードで撮った画像を使ってパノラマ写真を作成します。

その他の機能や操作方法については、OLYMPUS Masterの「ヘルプ」および取扱説明書をご覧ください。

OLYMPUS Masterをインストールする

お使いのパソコンのOSをご確認の上、インストールしてください。
新しいOSへの対応についてはオリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp)でご確認ください。

動作環境について

Windows

OS	Windows 98SE／Me／2000 Professional／XP
CPU	Pentium III 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、65,536色以上

ご注意

- OSがプレインストールされているパソコンのみ、動作対象となります。
- Windows 2000 Professional／XPでインストールする場合は、管理者権限を所有するユーザーでログオンしてください。
- QuickTime 6以上、Internet Explorerがインストールされている必要があります。
- Windows XPは、Windows XP Professional／Home Editionに対応しています。
- Windows 2000は、Windows 2000 Professionalにのみ対応しています。
- Windows 98SEをお使いの場合、USBドライバが自動的にインストールされます。

Macintosh

OS	Mac OS X 10.2以降
CPU	Power PC G3 500MHz以上
RAM	128MB以上（256MB以上を推奨）
ハードディスク容量	300MB以上
コネクタ	USBポート
モニタ	1024 × 768ドット以上、32,000色以上

ご注意

- USB ポートが標準装備されていない Macintosh では、パソコンとカメラをUSB接続した場合の動作を保証いたしません。
- QuickTime 6以上、Safari 1.0以上がインストールされている必要があります。
- 次の操作を行う時は、必ずメディアを取り出す手順（ゴミ箱にドラッグ＆ドロップ）を先に行ってください。この手順を行わずに操作すると、パソコン動作が不安定になり、再起動が必要となる場合があります。
  - カメラとパソコンの接続ケーブルを抜く
  - カメラの電源を切る
  - カメラの電池／カードカバーを開ける

Windowsの場合

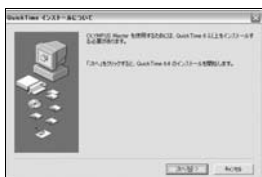
1 **CD-ROM ドライブに CD-ROM を入れます。**

- OLYMPUS Masterセットアップ画面が表示されます。
- 表示されない場合は、「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、CD-ROM アイコンをクリックしてください。

2 **「OLYMPUS Master」ボタンをクリックします。**

- QuickTimeインストール用の画面が表示されます。
- QuickTimeはOLYMPUS Masterを動作させるために必要です。すでにQuickTime 6以上がインストールされている場合は表示されません。手順4に進んでください。

3 **「次へ」ボタンをクリックし、画面のメッセージに沿って操作を行います。**

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「同意します」ボタンをクリックします。
- OLYMPUS Masterインストール用の画面が表示されます。

4 **画面のメッセージにしたがって操作を行います。**

- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。
- 途中、ユーザ情報入力画面が表示されたら、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、地域を選択して「次へ」ボタンをクリックします。シリアル番号はCD-ROMのパッケージに貼ってあるシールをご覧ください。
- 途中、DirectXの使用許諾画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「はい」ボタンをクリックします。
- Adobe Readerをインストールするかどうか確認する画面が表示されます。Adobe ReaderはOLYMPUS Masterの取扱説明書を見るために必要です。すでにAdobe Readerがインストールされている場合は表示されません。インストールする場合は「OK」ボタンをクリックします。

- 続いて、蔵衛門体験版のインストールを行うかどうか確認する画面が表示されます。インストールする場合は「はい」ボタンをクリックします。

5 **画面のメッセージにしたがって操作を行います。**

- インストール完了画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

6 **再起動を求める画面が表示されたら、「今すぐコンピュータを再起動する」を選択して「OK」ボタンをクリックします。**

- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

Macintoshの場合

1 **CD-ROMドライブにCD-ROMを入れます。**

- CD-ROMのウィンドウが表示されます。
- 表示されない場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックします。

2 **「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。**

- OLYMPUS Masterのインストーラが起動します。
- 画面のメッセージに沿って操作を行ってください。
- 途中、使用許諾契約の画面が表示されたら、契約文をお読みのうえで「続ける」ボタン、「同意します」ボタンをクリックします。
- インストール完了画面が表示されます。

3 **「終了」ボタンをクリックします。**

- 最初の画面に戻ります。

4 **「再起動」ボタンをクリックします。**

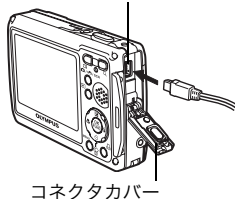
- パソコンが再起動します。
- CD-ROMは、CD-ROMドライブから取り出して保管してください。

カメラをパソコンに接続する

1 **カメラの電源が入っていないことを確認します。**

- 液晶モニタが消灯している。
- レンズカバーが閉じている。

2 **カメラ付属の USB ケーブルでパソコンの USBポートとカメラのマルチコネクタを接続します。**

- USB ポートの位置はお使いのパソコンの取扱説明書でご確認ください。
- 自動的にカメラの電源が入ります。
- カメラの液晶モニタが点灯し、USB ケーブルの接続先の選択画面が表示されます。

3 **[PC] を選択し、(OK/FUNC)を押します。**

4 **パソコンがカメラを新しい機器として認識します。**

- **Windowsの場合**
  はじめてカメラとパソコンを接続したときは、パソコンがカメラを認識する動作を自動的に行います。設定終了のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてメッセージを終了してください。カメラは「リムーバブルディスク」として認識されます。
- **Macintoshの場合**
  画像ファイルは通常iPhotoというアプリケーションで管理されます。はじめてカメラを接続するとiPhotoが起動しますので、iPhotoを終了させOLYMPUS Masterを起動してください。

! ご注意

- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- USB ハブを経由してカメラを接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合は、ハブを使用しないでください。

OLYMPUS Masterを起動する

Windowsの場合

1 デスクトップの「OLYMPUS Master」アイコンをダブルクリックします。

- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザ登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

Macintoshの場合

1 「OLYMPUS Master」フォルダ内の「OLYMPUS Master」アイコンをダブルクリックします。

- メインメニューが表示されます。
- 最初の起動時、メインメニューの前にユーザ情報入力画面が表示されますので、「名前」「OLYMPUS Masterシリアル番号」を入力し、地域を選択してください。
- ユーザ情報入力画面に続いて、ユーザー登録画面が表示されます。画面の案内にしたがって必要な情報を入力してください。

OLYMPUS Masterのメインメニュー

❶「画像を取り込む」ボタン
画像をカメラまたはメディアから取り込みます。

❷「画像を見る」ボタン
ブラウズウィンドウが表示されます。

❸「オンラインプリント」ボタン
オンラインプリントウィンドウが表示されます。

❹「プリント」ボタン
プリントメニューが表示されます。

❺「楽しむ」ボタン
楽しむメニューが表示されます。

❻「バックアップ」ボタン
画像をバックアップします。

❼「アップグレード」ボタン
OLYMPUS Master Plusへアップグレードできるウィンドウが表示されます。

OLYMPUS Masterを終了するには

1 メインメニューで「閉じる」ボタンをクリックします。

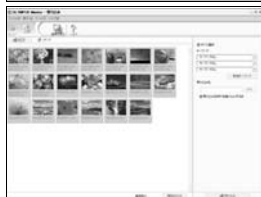
- OLYMPUS Masterが終了します。

カメラの画像をパソコンで表示する

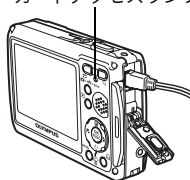
取り込んで保存する

1 OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を取り込む」ボタンをクリックします。
- 取り込み元選択メニューが表示されます。

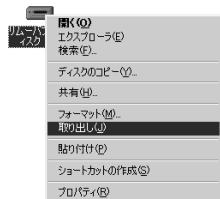
2 「カメラから」ボタンをクリックします。
- 取り込み元ウィンドウが表示されます。カメラ内のすべての画像が一覧表示されます。

3 画像ファイルを選択し、「取り込み」ボタンをクリックします。
- 取り込み完了のメッセージが表示されます。

4 「今すぐ画像を見る」ボタンをクリックします。
- ブラウズウィンドウに取り込んだ画像が表示されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

カメラを取り外すには

1 カードアクセスランプの点滅が終了していることを確認します。

2 USBケーブルを抜く準備をします。

Windows 98SEの場合

①「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、メニューを表示させます。
② メニューの「取り出し」をクリックします。

Windows Me／2000／XPの場合

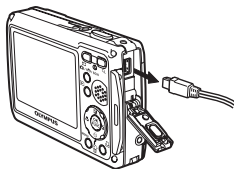
① システムトレイに表示されている「ハードウェアの取り外し」アイコン をクリックします。
② 表示されたメッセージをクリックします。
③「デバイスは安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。

Macintoshの場合

① デスクトップの「名称未設定」（または「NO_NAME」）アイコンをドラッグすると「ゴミ箱」アイコンが「取り出し」アイコンに変わりますので、そのまま「取り出し」アイコンの上にドロップしてください。

3 カメラからUSBケーブルを抜きます。

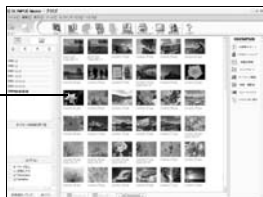
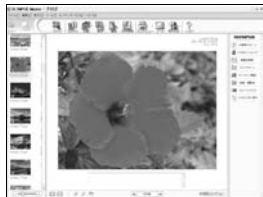
ご注意

- Windows Me／2000／XPの場合：「ハードウェアの取り外し」をクリックした際、「カメラを停止できません」という警告画面が表示される場合があります。その場合は、カメラの画像データを読み込み中でないこと、またカメラの画像ファイルを開いていたアプリケーションが起動していないことを確認してください。確認後、「ハードウェアの取り外し」の操作を再度行い、その後ケーブルを外してください。

静止画／ムービーを見る

1 **OLYMPUS Masterメインメニューで「画像を見る」ボタン をクリックします。**

- ブラウズウィンドウが表示されます。

2 **見たい静止画のサムネイルをダブルクリックします。**

サムネイル

- ビューモードに切り換わり、画像が拡大されます。
- ブラウズウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

ムービーを見るには

1 **ブラウズウィンドウで見たいムービーのサムネイルをダブルクリックします。**

- ビューモードに切り換わり、ムービーの1コマ目が表示されます。

2 **ムービー表示部下側の再生ボタンをクリックするとムービーが再生されます。**

コントローラ各部の名称とはたらきは以下のとおりです。

	項目	詳細
1	再生スライダー	スライダーを移動して、任意のフレームを指定できます。
2	時間表示	再生中の経過時間が表示されます。
3	再生（一時停止）ボタン	ムービーを再生します。再生中は一時停止ボタンになります。
4	1フレーム戻るボタン	1つ前のフレームを表示します。
5	1フレーム進むボタン	次のフレームを表示します。
6	停止ボタン	再生を停止し、先頭のフレームに戻ります。
7	繰り返しボタン	ムービーが繰り返し再生されます。
8	ボリュームボタン	ボリューム調整スライダーが表示されます。

プリントする

フォト、インデックス、ポストカード、カレンダーなどのプリントメニューがあります。ここではフォトプリントを例に説明します。

1 OLYMPUS Masterメインメニューで「プリント」ボタンをクリックします。

• プリントメニューが表示されます。

2 「フォト」ボタンをクリックします。

• フォトプリントウィンドウが表示されます。

3 フォトプリントウィンドウの「プリンタ設定」ボタンをクリックします。

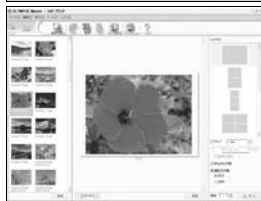
• プリンタ設定画面が表示されますので、必要に応じてプリンタの設定を行います。

4 プリントするレイアウトやサイズなどを選択します。

• 日付または日時を入れてプリントしたいときは、「撮影日印刷」にチェックをつけて「日付」または「日時」を選択します。

5 プリントしたい画像のサムネイルを選択し、「追加」ボタンをクリックします。

• 選択した画像がレイアウト上にプレビュー表示されます。

6 プリントする部数を設定します。

7 **「プリント」ボタンをクリックします。**

- プリントが開始されます。
- フォトプリントウィンドウの「メニュー」をクリックすると、メインメニューに戻ります。

OLYMPUS Masterを使用せずにパソコンに画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。OLYMPUS Masterを使用せずに付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下のとおりです。

Windows：Windows 98SE／Me／2000 Professional／XP

Macintosh：Mac OS 9.0—9.2／X

ご注意

- Windows 98SEをお使いの場合は、USBドライバのインストールが必要です。カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する前に、付属のOLYMPUS Master CD-ROMの、以下のフォルダのファイルをダブルクリックしてください。
  （お使いのパソコンのドライブ名）：¥USB¥INSTALL.EXE
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
  - Windows 95／98／NT 4.0
  - Windows 95／98からアップグレードしたWindows 98SE
  - Mac OS 8.6以前
  - 拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン
  - 工場出荷時にOSがインストールされていないパソコンおよび自作パソコン

5　もっとカメラのことが知りたいときに

こんなときは?

撮影前、こんなときは

電池を入れてもカメラが動かない

電池が充電されていない

・充電器で電池を充電してください。

低温下にあり、一時的に電池の性能が低下した

・電池は低温下にあると性能が低下して、カメラを動かすための十分な充電量が確保できない場合があります。カメラから電池を一度取り出してポケットに入れるなどして少し温めてから使用してみましょう。

シャッターボタンを押しても撮影ができない

カメラがスリープモードに入っていた

・カメラは電源オンの状態（レンズカバーが開き、液晶モニタ点灯）で、何も操作しないとスリープモードと呼ばれる省電力状態に入り、液晶モニタは自動的に消灯します。この状態でシャッターボタンを全押ししても撮影できません。ズームボタンやその他のボタンを操作して、カメラをスリープモードから復帰させてから撮影しましょう。さらに15分放置すると、カメラは電源オフの状態（レンズカバーが閉じ、液晶モニタ消灯）になります。**POWER**ボタンを押して電源を入れてください。

再生モードになっている

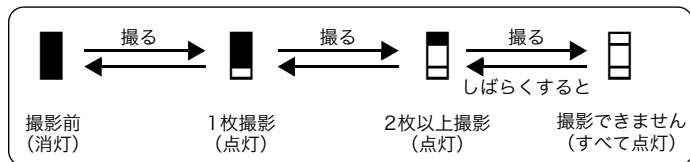
・撮影した画像を液晶モニタに表示するモードです。／／**SCN**ボタンを押して撮影モードにしましょう。

フラッシュが充電中である

・（フラッシュ充電）マークの点滅が終わってから、もう一度シャッターボタンを押してください。

液晶モニタのメモリゲージがすべて点灯している

・すべて点灯している間は、撮影できません。メモリゲージの一番上が消灯するまでお待ちください。

5
もっとカメラのことが知りたいときに

日時設定がされていない

購入時のままで使用している

・お買い上げ時のカメラの状態では日時設定はされていません。日時設定をしてからご使用ください。

☞「日時設定　日付・時刻を設定する」（P.34）

カメラから電池を抜いていた

・電池を抜いた状態で約1日放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります（当社試験条件による）。大切なものを撮る前には日時の設定が正しいことを確認してください。

こんな撮影がしたい

狙ったものにピントを合わせたい

被写体の種類によっていくつかの方法があります。

被写体が画面の中央にない

・被写体を中央においてフォーカスロックをしてから撮影する構図を決めます。

・［AF方式］を［iESP］に設定します。

☞「AF方式　ピントを合わせる範囲を変える」（P.21）

被写体の動きが早い

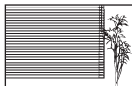
・撮影しようとする位置とほぼ同じ距離のものでピントを合わせ（シャッターボタン半押し）、そのまま撮影する構図に移して被写体を待ちます。

オートフォーカスの苦手な被写体

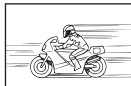
・次のような場合、オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。液晶モニタの緑ランプの表示で確認することができます。

緑ランプ点滅
このようなものにはピントが合いません。

コントラストがはっきりしない被写体

画面中央に極端に明るいものがある場合

縦線のないもの

緑ランプは点灯するが、写したいものにピントが合わない。

遠いものと近いものが混在する場合

動きの速いもの

ピントを合わせたいものが中央にない

いずれの場合も、被写体と同距離にあるコントラストのはっきりとしたものでピントを合わせた後、構図を決めて撮影してください。また、縦線のない被写体の場合は、カメラを縦位置に構えてピントを合わせた後、構図を横に戻して撮影しても効果的です。

ぶれない写真を撮りたい

カメラを正しく構え、シャッターボタンを静かに押して撮影してください。また（手ぶれ）モードで撮影するとぶれが軽減されます。

写真がぶれる理由は、次の場合が考えられます。

- 光学ズームとデジタルズームを使うなど、高倍率のズームで撮影するとき
- 被写体が暗くシャッター速度が遅いとき
- フラッシュが使用できない、またはシャッター速度が遅くなるSCNモードを設定しているとき

フラッシュを発光しないで撮りたい

フラッシュは明るさが不足している環境で自動的に光ります。被写体の距離が遠いとフラッシュが光ってもあまり効果がない場合があります。このようなときは以下の方法があります。

（手ぶれ）モードに設定する

- CCDの感度は自動的に高くなるので少しくらい暗くても手持ちでフラッシュなしで撮影できます。

☞「（手ぶれ）　ぶれ軽減機能を使って撮影する」（P.9）

[ISO感度] 設定を高くする

- [ISO感度] 設定の数値を高くします。

☞「ISO感度　ISO感度を変更する」（P.19）

撮影した写真が粗い

撮影した写真が粗く見える理由はいくつかあります。

デジタルズームを使って拡大して撮影した

- デジタルズームは画像の一部を切り出して拡大しています。拡大するほど画像の粗さが目立ちます。

☞「デジタルズーム　被写体を大きく撮影する」（P.20）

ISO感度を高く設定して撮影した

- [ISO 感度] 設定を高くすると、ノイズと言われる本来そこにはないはずの色の小さな点や均一の色の部分に色むらが発生し、画像が粗く見えます。このカメラはノイズを抑えて高感度で撮影できる機能を備えていますが、ISO感度を高くすると、低いときよりは粗くなります。

☞「ISO感度　ISO感度を変更する」（P.19）

正しい色で撮りたい

・撮影した写真の色が見た目と違う原因は被写体を照らす光源です。[ホワイトバランス]はカメラが正しい色を判断するための機能です。通常は[オート]でほとんどの環境をカバーしますが、被写体の条件によっては[ホワイトバランス]の設定を変えて試してみる方が良い場合があります。

  ・晴天の日中でも被写体が陰になるとき
  ・窓辺などで外光と照明光が重なってあたるとき
  ・画面の中に白いものがないとき

☞「ホワイトバランス　画像の色合いを調整する」(P.19)

白い砂浜や雪景色をきれいな白で撮りたい

・SCNモードので撮影します。晴天の海や雪山で撮影するのに最適です。

☞「SCN（シーン）　被写体に合った撮影シーンを選んで撮影する」(P.18)

・通常、白い被写体（雪など）を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、[露出補正]で[+]に補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆に[−]に補正すると効果的です。ただし、フラッシュを使用すると意図した明るさ（露出）で撮影できないことがあります。

☞「△ボタン　画像の明るさを変える」(P.12)

逆光でも人物の顔が暗くならないように撮りたい

・[測光]を[スポット]に設定すると、背景の光に影響されることなく、画面中央部の明るさに合わせて撮影できます。

☞「測光　明るさを測る範囲を変える」(P.20)

・フラッシュモードを[強制発光]に設定して、フラッシュを必ず発光させて撮影します。逆光でも顔が暗くならず撮影できます。逆光のとき以外に、蛍光灯や人工照明下での撮影時でも[強制発光]は有効です。

☞「▷ボタン　フラッシュ撮影する」(P.12)

撮影中、これが知りたい

撮影できる枚数を多くしたい

このカメラで撮影した画像を記録する方法は2つあります。

内蔵メモリに記録する

- 撮影をして撮影可能枚数が0になったら、カメラをパソコンなどに接続して画像を保存し、内蔵メモリの画像を消去する必要があります。

カードを使う（別売）

- カメラにカードを挿入しているとき、画像はカードに記録されます。カードの空き容量がなくなったら、画像をパソコンに保存してカードの画像を消去するか、新しいカードを使います。
- カメラにカードを挿入しているとき、内蔵メモリは使えません。内蔵メモリの画像は、[データコピー] の機能を使ってカードにコピーすることができます。

☞「データコピー　内蔵メモリの画像をカードにコピーする」(P.31)
「カードについて」(P.75)

内蔵メモリとカードの撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

画質	画像サイズ	撮影可能枚数（枚）			
		内蔵メモリ		カード（128MBの場合）	
		音声あり	音声なし	音声あり	音声なし
SHQ	3072 × 2304	5	5	36	36
HQ	3072 × 2304	11	11	71	73
SQ1	2560 × 1920	15	16	102	105
	2304 × 1728	19	19	124	128
	2048 × 1536	23	24	156	163
SQ2	1600 × 1200	28	30	185	194
	1280 × 960	43	46	285	307
	1024 × 768	64	71	420	469
	640 × 480	97	116	614	726

ムービー

画質	画像サイズ	撮影可能時間（秒）	
		内蔵メモリ	カード（128MBの場合）
SHQ	640 × 480（15コマ／秒）	17	112
HQ	320 × 240（15コマ／秒）	50	333
SQ	160 × 120（15コマ／秒）	129	848

新しいカードを使いたい

・オリンパス製以外のカードを使うときや、パソコンなどで他の用途に使用したカードをカメラに入れると、[このカードは使用できません] と表示されることがあります。その場合は、[カード初期化] の機能を使ってカードを初期化してください。

☞「内蔵メモリ初期化（カード初期化） 内蔵メモリ／カードを初期化する」（P.31）

ランプの意味を知りたい

カメラの状態を知らせるためのランプがいくつかあります。

ランプ	状態
セルフタイマーランプ	約10秒間点灯後、約2秒間点滅：シャッターが切れる（撮影される）
カードアクセスランプ	点滅：画像の記録中／画像の読み出し中／画像の取り出し中（パソコン接続時） ・カードアクセスランプの点滅中は、絶対に以下のことをしないでください。撮影した画像が保存されないだけでなく、内蔵メモリまたはカードが破壊され使用できなくなる場合があります。 ・電池／カードカバーを開ける ・電池を取り外す ・ACアダプタを抜き差しする
液晶モニタの緑ランプ	点灯：ピントと露出が固定 点滅：ピントと露出が固定されていない ・シャッターボタンから指を離し、ピントを合わせる位置を少しずらしてもう一度シャッターボタンを半押ししてください。

電池を長持ちさせたい

・以下の操作をすると実際に撮影をしなくても、電池を消耗しますので、なるべく避けてください。
  ・シャッターボタンの半押しを繰り返す
  ・ズーム操作を繰り返す
・電池の消耗をできるだけ防ぐには、こまめに電源を切るようにしましょう。

メニューで選べない機能がある

・メニューを表示したとき、十字ボタン（△▽◁▷）を使っても選べない項目がある場合があります。
  ・現在の撮影モードで設定できない項目の場合
  ・すでに設定済みの項目との組み合わせの関係で設定できない場合：[スーパーマクロ］と［フラッシュ］など。
  ・他のカメラで撮影した画像を編集しようとしたとき
・カメラにカードが入っていないと、使用できない機能があります。

パノラマ／カード初期化／データコピー／プリント予約／リサイズ／赤目補正／モノクロ作成／セピア作成／フレーム合成／タイトル合成／カレンダー合成／明るさ調整／鮮やかさ調整／アルバム登録／アルバム再生

画質の選び方の目安を知りたい

画質は、画像サイズと圧縮の度合いの組み合わせを表しています。選択する場合のおおよその目安は、以下の通りです。

A4などの大きなサイズで印刷したい／パソコンで画像処理したい

・[SHQ]［HQ]

はがきなどのサイズに印刷したい

・[SQ1]

メールに添付したりホームページに載せる

・[SQ2]

☞「画質　用途に合わせて画質を変更する」(P.17)

各機能の設定を初期設定に戻したい

・[画質]やフラッシュの設定など撮影に合わせて設定を変えると、電源を切っても変更した設定を保持しています（(✋)とSCNを除く）。初期設定に戻すには［リセット］を実行してください。

☞「リセット　撮影機能を初期設定に戻す」(P.18)

再生中、こんなときは

赤目が補正できない

・画像によっては赤目補正されないことがあります。また、目以外の部分が補正されることがあります。

画像をアルバムに登録できない

・画像は各アルバムに200枚までしか登録できません。

・同じ画像を複数のアルバムに登録することはできません。

再生中、こうしたい

内蔵メモリ内の画像を再生したい

・カメラにカードが入っているときは内蔵メモリ内の画像は再生されません。カードを抜いて操作してください。

目的の画像をすばやく表示したい

・アルバム機能を使いましょう。カード内の画像を12のアルバムに分けて登録しておくことができます。見るときは再生モードで**MENU**ボタンを押し、トップメニューからアルバムを選択して再生します。
同じ画像を複数のアルバムに登録することはできません。

☞「アルバム登録　撮影した画像をアルバムに入れる」（P.27）
「アルバム　アルバムに登録されている画像を見る」（P.28）

・再生モードでズームボタンのW側を押して、複数の画像を一覧表示（インデックス再生）したり、画像をカレンダー形式で表示（カレンダー再生）します。

☞「ズームボタン　ズームイン／ズームアウトして撮る・見る」（P.11）

静止画に録音済みの音声を消したい

・一度録音したら音声のみを消すことはできません。音声を入れず（無音状態）再録音してください。内蔵メモリまたはカードに残量がない場合は、録音できません。

☞「録音　撮った画像に音声を録音する」（P.26）

画像をパソコンで見るとき、こうしたい

パソコンの画面で画像全体を見たい

パソコンのモニタ上で画像が表示されるときの大きさは、パソコンの設定によって変わります。モニタの設定が1024×768のときInternetExplorerを使って画像を見る場合、画像サイズが2048×1536の画像を100%で表示するとスクロールしないと全体を見ることができません。この場合、いくつかの方法があります。

画像閲覧用のソフトを使って画像を見る

- 付属のCD-ROMのOLYMPUS Masterをインストールして使用してください。

パソコン画面のプロパティの設定を変更する

- デスクトップのアイコンの配置が換わってしまうことがあります。パソコンの設定方法は、パソコンの取扱説明書をお読みください。

カメラにエラーメッセージが表示されたら

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
このカードは使用できません	カードに問題があります。	このカードは使用できません。新しいカードを入れてください。
書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	パソコンを使って読み取り専用の設定がされています。再度パソコンを使って設定を解除してください。
撮影可能枚数が0です	内蔵メモリの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にカードを使用してデータコピーするか、パソコンに取り込んでください。
撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
内蔵メモリに残量がありません	内蔵メモリに空き容量がなく、新たな記録をすることができません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にカードを使用してデータコピーするか、パソコンに取り込んでください。
カード残量がありません	カードに空き容量がなく、内蔵メモリのデータコピーなど新たな記録をすることができません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
画像が記録されていません	内蔵メモリまたはカードに記録画像がないため画像が再生できません。	内蔵メモリまたはカードに画像が記録されていません。 撮影してから再生してください。
この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
カードカバーが開いています	電池／カードカバーが開いています。	電池／カードカバーを閉めてください。

液晶モニタ表示	原因	こうしましょう
電池残量がありません	電池残量がありません。	電池を充電してください。
日時を設定してください	はじめてカメラを使用するときや長時間電池を抜いていたときには、日時が初期設定に戻っています。	日時を設定してください。
カードセットアップ [xD] 電源オフ カード初期化 決定 OK	カードがこのカメラで使用できません。またはカードが初期化されていません。	別のカードに交換するか、カードを初期化してください。 • [電源オフ] を選択し、OK/FUNCを押して新しいカードを入れてください。 • [カード初期化] ▶ [する] の順に選択し、OK/FUNCを押して初期化します。初期化すると、カード内のデータはすべて消去されます。
メモリセットアップ [IN] 電源オフ 内蔵メモリ初期化 決定 OK	カメラの内蔵メモリにエラーがあります。	[内蔵メモリ初期化] ▶ [する] の順に選択し、OK/FUNCを押して初期化します。初期化すると内蔵メモリのデータはすべて消去されます。
接続されていません	カメラがプリンタに正しく接続されていません。	カメラとプリンタを正しく接続しなおしてください。
用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした場合です。	プリントの設定中には、プリンタの操作はしないでください。
プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから再度電源を入れ直してください。
この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。

撮影モード／撮影シーン別設定可能な機能

撮影モードによっては、設定できない項目があります。詳しくは、以下の表をご覧ください。
SCNモードの撮影シーンによって、その効果を出すために設定できる機能に制限がある場合は、[網掛け]で示しています。
☞「撮影シーン別制限事項のある機能」（P.69）

撮影モード別設定可能項目

撮影モード / 機能	📷		(手ぶれ)	SCN
	P	AUTO		
露出補正	○	○	○	○
フラッシュ	○	○	○	[網掛け]
マクロ／スーパーマクロ	○	○	○	[網掛け]
セルフタイマー	○	○	○	[網掛け]
光学ズーム	○	○	○	[網掛け]
ホワイトバランス	○	−	○	○
ISO感度	○	−	−	[網掛け]
ドライブ	○	−	○	[網掛け]
測光	○	−	○	[網掛け]
画質	○	○	○	[網掛け]
デジタルズーム	○	−	○	[網掛け]
AF方式	○	−	○	[網掛け]
静止画録音	○	−	○	[網掛け]
パノラマ	○	−	○	[網掛け]
内蔵メモリ初期化（カード初期化）	○	○	○	○
データコピー	○	○	○	○
(言語)	○	○	○	○
撮影／再生	○	○	○	○
PW ON 設定	○	○	○	○
画面配色設定	○	○	○	○
操作音	○	○	○	[網掛け]
警告音	○	○	○	[網掛け]
シャッタ音	○	○	○	[網掛け]
撮影確認	○	○	○	[網掛け]
ファイル名メモリー	○	○	○	○
ピクセルマッピング	○	○	○	○
モニタ調整	○	○	○	○
日時設定	○	○	○	○

機能 ＼ 撮影モード	（カメラ）P	（カメラ）AUTO	（手ぶれ）	SCN
デュアルタイム	○	○	○	○
アラーム設定	○	○	○	－
ビデオ出力	○	○	○	－

撮影シーン別制限事項のある機能

機能	撮影シーン																
フラッシュ	○	○	○	○	－	○	－	－	－	－	－	－	○ ※5	○	○	○	－
マクロ／スーパーマクロ	○	○ ※1	○ ※1	○	○	○ ※1	○ ※1	○ ※1	○	○	－	○	○	○	－	○	○
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	※4	－	※4	○
光学ズーム	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○
ISO感度	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	－	－
ドライブ	○	○	－	○	－	○	－	－	○	○	－	－	－	○	○	○	－
測光	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画質	○	○	○	○	○ ※2	○	○	○	○	○	※3	○ ※2	○	○	○	○	○
デジタルズーム	○	○	○	○	－	－	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
AF方式	○	○	○	○	○	－	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	－
静止画録音	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－
パノラマ	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	－	－	－	○	○	○	－
操作音	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
警告音	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○
シャッタ音	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	－
撮影確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	○	－	○	－

※1 スーパーマクロは設定できません。
※2 ［2048×1536］以下の画質のみ設定できます。
※3 ［640×480］に固定されます。
※4 AFロックになります。
※5 ［赤目軽減］を除く。

用語解説

画像サイズ

画像を構成する点（ピクセル）の数で表した画像の大きさのこと。例えば、640 × 480で撮影した画像は、パソコンのモニタの設定が640 × 480のときではモニタ全体に表示されますが、1024 × 768ではモニタの一部分にだけ表示されます。

画素数

画像を形成する最小単位の点。画素数が多いほど、サイズの大きな画像を作るのに適しています。

銀塩写真

ハロゲン化銀を使った、従来からあるフィルムを用いた写真のことをいいます。

けられ

撮影画面内に邪魔なものが入って、被写体が完全に写らないとき、またファインダで覗いたときに撮影レンズの鏡胴で視野の一部が見えないことも、けられといいます。撮影レンズに不適切なフードを使った場合などに視野の四隅が暗くなることもいいます。

コントラスト検出方式

被写体までの距離を測るのに使用している方法。被写体のコントラストの大小を検出することで、ピントがあったかどうかを検出します。

絞り

レンズを通して入ってくる光量を調節する機構。値が小さいほど光が多く入り、値が大きいほど入る光が少なくなります。そのレンズで使える最小の絞り値にすることを開放するといい、絞り値を大きくするのを絞り込むといいます。

スリープモード（待機状態）

電池を節約するためのモード。電源を入れたままカメラを一定時間放置すると、電池を節約するためにカメラは動作を停止します。シャッターボタンや十字ボタン（△▽◁▷）などの操作をすると、すぐにカメラは動作します。

プログラムオート（Program auto）

プログラムAEモード。カメラが自動的に、適正な絞り値とシャッター速度を設定して撮影するモード。

露出

画像が写るために得る光の量。シャッター速度と絞りでレンズを通して入ってくる光の量を調節して、露出を決めます。

アルファベット順

CCD（charge coupled device）

レンズを通して入ってきた光りを受けて、電気信号に変換する素子。CCDで受けた光をRGBの信号に変換して、一つの画像を作り出します。

DCF（design rule for camera file system）

電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された、画像ファイルに関する規格。

DPOF（digital print order format）

デジタルカメラの自動プリントアウト情報を記録するフォーマット。画像を保存したカードにプリントしたい画像の指定や、枚数の指定情報を記録することで、DPOF対応の写真店やプリンタでプリントアウトを簡単に行うことができます。

ESP測光（electro selective pattern）／デジタルESP測光

CCD出力を分割測光によって、周辺と中心部を個別に測光し、演算して露出を決める測光方法。

EV（exposure value）

露出値。絞り値がF1、シャッター速度が1秒のときの光量をEV0と規定し、それより絞りを一段絞ったり、シャッター速度を一段早くするごとに、数値は1ずつ多くなります。EVは明るさとISO感度でも表せます。

ISO

国際標準化機構（ISO）の規格で決められた、フィルム感度の表示法。通常「ISO100」のように表記します。数値が大きくなるほど、光に対する感度が強くなり、少ない光でも感光します。

JPEG（joint photographic experts group）

静止画の圧縮方式。このカメラで撮影した写真（画像）は、JPEG形式でカードに記録されます。パソコンに読み込めば、グラフィックス用のアプリケーションソフトで加工したり、インターネット閲覧ソフト（ブラウザ）で見ることができます。

NTSC／PAL（National Television Systems Committee／Phase Alternating Line）

テレビの放送方式。NTSCは主に日本、北米、韓国で使用され、PALは主にヨーロッパ諸国や中国で使用されています。

PictBridge

異なるメーカーのプリンタとデジタルカメラを接続し、画像を直接プリントすることを目的とした規格です。

TFT（thin-film transistor）液晶

薄膜で作られたトランジスタを利用したカラー液晶モニタ。

アフターサービス

●保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、ただちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

●本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。

●当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにお問い合わせください。

●海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載の Ⓦ マークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。

●本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。

●修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

お手入れ

カメラのお手入れ

カメラの外側

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、硬く絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を硬く絞って拭き取ります。

液晶モニタ

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

- レンズブロワー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

電池／充電器

- 乾いた柔らかい布で拭きます。

ご注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、かびが生えることがあります。

カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

ご注意

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

電池／充電器について

●電池は、当社製リチウムイオン電池（LI-42B または LI-40B）1 個を使用します。それ以外の電池は使用できません。

●カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。

●以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
・ズーム動作を繰り返す。
・撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。
・長時間、液晶モニタで画像を表示する。
・パソコンやプリンタとの接続時。

●消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。

●ご購入の際、充電池は十分に充電されていません。ご使用の前に専用の充電器（LI-40C）で充電を行ってください。

●付属の充電池の充電時間は通常約300分（目安）です。

●専用の充電器以外は使用しないでください。

●充電器はAC100～240V（50／60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。海外でご使用の際は、変換プラグアダプターが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。

●市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、充電器が故障することがありますので使用しないでください。

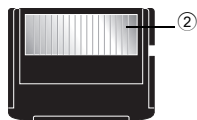
別売品を便利に使う

カードについて

別売のカードに撮影した画像を記録することもできます。

内蔵メモリおよびカードは、撮影した画像を記録するためのフィルムにあたるものです。
記録された画像は自由に削除したり、パソコンで加工することができます。
内蔵メモリはカメラから取り出したり、交換したりすることはできません。
容量の大きなカードに交換すると記録できる枚数を増やすことができます。

① インデックスエリア
カードに保存されている内容がわかるように、ここに記入できます。

② 接触面（コンタクトエリア）
カメラの信号読み取り接点が接触する部分です。

使用できるカード

xD-ピクチャーカード（16MB～1GB ）

内蔵メモリとカードの関係

内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して撮影・再生しているか、液晶モニタの表示で確認できます。

撮影モード **再生モード**

使用メモリ表示

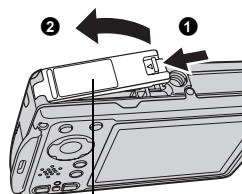
ご注意

- 初期化や削除をしてもカード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

6 資料

カードを入れる／取り出す

1 カメラの電源を切ります。

2 電池／カードカバーを開けます。

カードを入れる

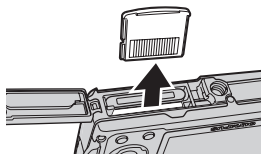
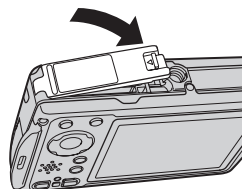
3 カードの向きを図のように正しく合わせて入れます。

- カードをまっすぐに差し込みます。
- カードを奥まで差し込むとカチッという音がします。

カードを取り出す

3 カードを一度奥に向かって押しこんで、そのままゆっくり戻します。

- カードが手前に出て止まります。

- カードをつまんで取り出します。

4 電池／カードカバーを閉じます。

ご注意

- カードアクセスランプが点滅しているときは、画像の読み出しが行われています。画像の読み出しには時間がかかることがありますので、カードアクセスランプの点滅中は、絶対に電池／カードカバーを開けないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが破壊され使用できなくなる場合があります。

ACアダプタ

長時間スライドショーを行う、パソコンに画像をダウンロードするなど、時間がかかる作業を行なう場合には、ACアダプタ（D-7AC／別売）のご使用をおすすめします。このカメラでACアダプタを使うには、マルチアダプタ（CB-MA1／別売）が必要です。
専用のACアダプタ以外はご使用にならないでください。

ご注意

- カメラの電源が入っているとき、カメラを他の機器に接続しているとき、電池やACアダプタ、マルチアダプタを抜き差ししないでください。カメラに設定されている設定値や機能にトラブルが生じる場合があります。
- ACアダプタはAC100～240V（50／60Hz）の電圧範囲でご使用になれます。
- 海外でご使用の際は、変換プラグアダプタが必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。
- ACアダプタ使用時は、カメラの防水機能は働きません。
- ACアダプタの取扱説明書を必ずお読みください。

使用上のご注意

使用条件について

● 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂、ほこり、ちりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 激しい振動のある場所

● カメラを落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。

● レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。CCD の退色・焼きつきを起こすことがあります。

● 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。

● カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。

● カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

● 三脚に取り付ける際は、カメラを回さず、三脚のネジを回してください。

● 本体の電気接点部には手を触れないでください。

● レンズに無理な力を加えないでください。

電池について

● 当社製リチウムイオン充電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。

● 電池の（+）（−）端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。

● 充電式電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

● 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するときは、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
● 撮影条件、使用環境および電池により、撮影枚数が減少することがあります。
● 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
● 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、（+）（−）端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは社団法人電池工業会のホームページ（http://www.baj.or.jp/recycle/）をご覧ください。

液晶モニタについて

本製品は背面の表示に、液晶モニタを使用しています。
● カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
● 液晶モニタは強く押さないでください。画面上ににじみが残り、画像が正しく再生されなくなったり、液晶モニタが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
● 液晶モニタの画面上下に光が帯状に見えることがありますが、故障ではありません。
● 被写体が斜めのとき、液晶モニタにギザギザが見えることがありますが、故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
● 一般に低温になるにしたがって液晶モニタは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するときは、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した液晶モニタは、常温に戻ると回復します。
● **本製品の液晶モニタは、精密度の高い技術でつくられていますが、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、液晶モニタの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

索引

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

OLYMPUS®

オリンパスイメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● **ホームページによる情報提供について**

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）**

フリーダイヤル

0120-084215

携帯電話・PHSからは0426-42-7499

FAX　0426-42-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

※ カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間、最新情報についてはオリンパスホームページにて情報提供しております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から
「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせ・修理品ご送付先（修理センター）、国内サービスステーション（修理窓口）につきましては、本製品に同梱の「オリンパス代理店リスト」、またはオリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。**

※ 記載内容は変更されることがあります。最新情報はオリンパスホームページ
http://www.olympus.co.jp/ をご確認ください。

Printed in China

VH410401